

科目名	金融機関論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修 ■ 選択	
			学科	□ 必修 □ 選択	
英文表記	Financial Institution	開講年次	□ 1 年 ■ 2 年 □ 3 年 □ 4 年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	のぐち ひでゆき	実務家教員担当科目	○	修得単位	2 単位
担当者名	野口 秀行	実施方法	□ 対面のみ □ 遠隔のみ ■ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	金融機関の情報生産活動に注目し、情報の非対称性に起因する金融機関の本質的な役割を学びます。あらたにフィンテック法についても学びます。				
到達目標	金融機関の主要な役割は資金供給と同時に情報生産活動にある。この情報生産の側面を学習し、金融機関の役割を社会的な視点から理解できるようになることを期待します。				
授業概要	金融機関の社会的な役割を、情報生産の観点から学習します。				
授業計画					
第 1 回	金融機関の役割。情報生産活動とは何か？ 貸せる力の根底にあるもの。				
第 2 回	日本の金融機関の現状：金融機関の定義と金融業の産業組織、メインバンク制度と金融が産業を支配する構造				
第 3 回	日本経済の戦後の高度成長を支えた傾斜金融と護送船団方式の限界				
第 4 回	プラザ合意と世界の金融市場の構造変革				
第 5 回	高度成長の終焉と金融機関の役割の変化 BIS 規制とメインバンク制度				
第 6 回	戦前の地方銀行の統合と特殊金融機関とその戦後の役割の変化				
第 7 回	世界的な金融再編 ビッグバンとは メガバンクの登場				
第 8 回	待ったなしの地銀の再編と地域経済の変容 地方経済の阻害要因と化した地域金融機関				
第 9 回	SBI による金融再編とフィンテック 地銀の再編に対する異論				
第 10 回	バブル経済の崩壊と日銀のレジームチェンジ リフレ派による異次元の金融緩和政策				
第 11 回	地域経済においてプライベートエクイティファンド ハンズオンファンドの果たす役割				
第 12 回	リーマンショックと金融機関①レバレッジを活かしたマネーゲームと暗号資産が抱えるリスク				
第 13 回	リーマンショックと金融機関②ドイツ銀行・クレディスイスの計破綻が示唆するもの				
第 14 回	ポストコロナ・インフレ昂進が金融政策に与える影響 市場におけるドル不足問題				
第 15 回	仮想通貨の誕生、フィンテック法の施行と銀行業の今後の展開予想				
第 16 回	定期試験				
授業時間外の学習	予習復習の徹底、事前にポータルサイトで確認のこと				
履修条件 受講のルール	なし。				
テキスト	適時講義用資料をポータルサイトにアップします				
参考文献・資料	追って連絡します				
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。 出席回数が規定に満たなかった場合、その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日				
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)				
実務経験及び実務を活かした授	日本政策投資銀行とのネットワークを活かした最新の情報を提供します。				

業内容	
学生への メッセージ	日本経済の可能性を信じ、克服すべき課題について探求して行きます。